

全国版救急受診アプリ(Q助) を使って病気やけがの 緊急度を判定しましょう

令和8年3月

みなさん、こんにちは。

これから、全国版救急受診アプリ（Q助）の使い方についてご説明いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

本講座では、全国版救急受診アプリ「Q助」を使う方法を学んでいきます。

「Q助」は病気やけがの症状から緊急度を判定し、救急車を呼ぶ必要があるかどうかについて知ることができるアプリです。

目次

1.全国版救急受診アプリ(Q助)を知りましょう

- 1-A 救急車の適時・適切な利用の重要性……………P2
- 1-B 全国版救急受診アプリ(Q助)とは……………P3
- 1-C 救急車の適時・適切な利用に関する参考情報……………P4
- 1-D 全国版救急受診アプリ(Q助)の利用手順……………P5

2. 全国版救急受診アプリ(Q助)利用の準備をしましょう

- 2-A 全国版救急受診アプリ(Q助)のインストール……………P7
- 2-B 利用設定のしかた……………P13

3. 全国版救急受診アプリ(Q助)を利用しましょう

- 3-A 緊急度判定のしかた……………P17
- 3-B 医療機関・受診手段の検索のしかた……………P28
- 3-C 急な症状で迷っている場合……………P34
- 3-D 救急車の呼び方……………P40

この講座は全国版救急受診アプリ（Q助）を利用して病気やけがの緊急度を判定する方法を学ぶ講座です。

「第1章 全国版救急受診アプリ（Q助）を知りましょう」では、救急車の適時・適切な利用や「Q助」の概要等について説明します。

「第2章 全国版救急受診アプリ（Q助）利用の準備をしましょう」では、「Q助」のアプリのインストール方法や登録方法について学びます。

「第3章 全国版救急受診アプリ（Q助）を利用しましょう」では、「Q助」を用いた緊急度判定の方法を学びます。

1 全国版救急受診アプリ (Q助)を知りましょう

1

ここでは、救急車の適時・適切な利用の重要性や「Q助」の概要、参考となる情報等について説明します。

生命に関わる病気やけがは、何の前触れもなく起こることがあります



突然の発症には、早期の通報や救急隊による適切な処置、早期の病院搬送等が、救命につながります

地域の限られた手段である救急車が、必要なときにかけつけられるよう、適時・適切な利用が重要です

生命に関わる病気やけがは、何の前触れもなく起こることがあります。

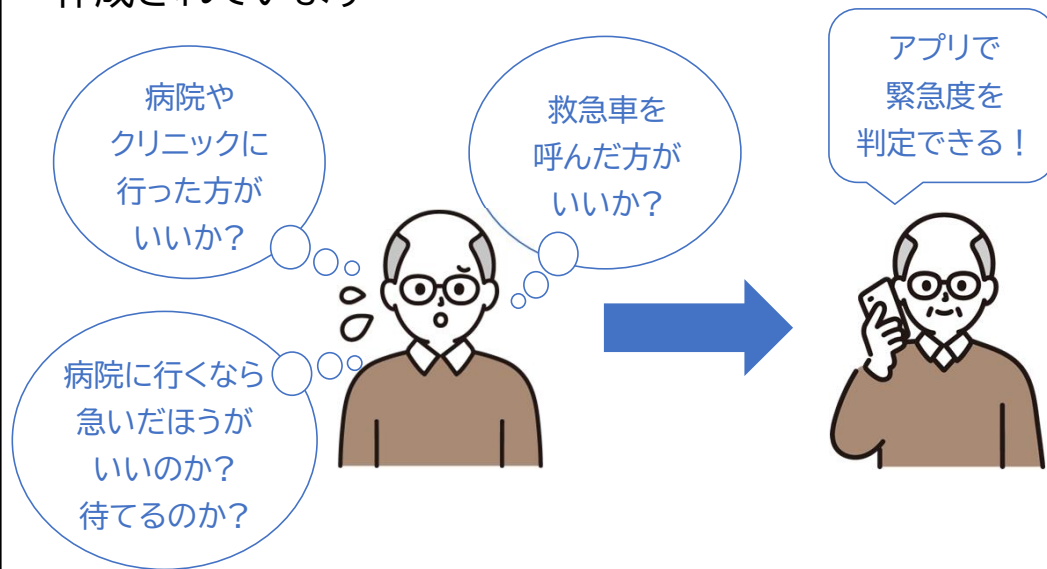
このような突然の発症に対する、早期の通報、救急隊による適切な処置、そして早期の病院搬送は、傷病者の後遺症の軽減や、早い社会復帰、救命につながります。

一方で、救急車は「緊急」に医療機関を受診するための地域の限られた手段です。

いざというときに、一分一秒でも早く救急車がかけつけられるよう、救急車を呼ぶかどうか迷ったときは、家族や電話相談、かかりつけ医などに相談するようにしましょう。

また、次のページ以降で説明する「全国版救急受診アプリ（Q助）」を準備しておくことで、救急車を呼ぶかどうかの判断の参考にすることもできます。

全国版救急受診アプリ(Q助)は、急な病気やけがをして、緊急度の判断に迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に作成されています



3

これからご説明する「全国版救急受診アプリ (Q助) 」は、急な病気やけがをした際に、「病院やクリニックに行った方がいいか?」、「病院に行くなら急いだ方がいいのか? 待てるのか?」、それとも「救急車を呼んだ方がいいか?」など、迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に作成されています。

【補足説明】

講師の皆様は、「Q助」の判定はあくまでも1つの目安であることをお伝えください。

また、ご自身でスマートフォンをうまく操作できない状態の時は、無理に「Q助」を利用せず、電話相談やかかりつけ医に相談するか、場合によっては救急車を呼ぶようご案内ください。

全国版救急受診アプリ(Q助)の紹介や救急についての情報を調べることができるサイトをご紹介します

全国版救急受診アプリ
(愛称「Q助」)

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>



救急安心センター事業
(#7119)をもっと詳しく！

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>



救急お役立ち ポータルサイト

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post3.html>



救急車の適時・適切な利用に関する情報を調べることができるサイトをご紹介します。

本ページに、救急車の適時・適切な利用について、参考となる情報が掲載されているホームページのURLを記載しています。

QRコードも載せておりますので、合わせてご利用ください。

「全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）」については消防庁のホームページもご覧ください。

また、緊急度判定についての詳細情報や、救急車の役割等を絵本やアニメーションを使って、年代別にわかりやすく解説した「救急お役立ち ポータルサイト」で、さらに詳しく学ぶことができます。

救急車を呼ぶかどうか判断に迷ったときに、医師や看護師等の専門家に救急相談ができる#7119の詳細については、「救急安心センター事業（#7119）をもっと詳しく！」のページもご参

照ください。

次ページから、以下の順番で操作のご説明をいたします

2章:Q助の利用準備

2-A 全国版救急受診アプリ(Q助)のインストール

2-B 利用設定のしかた



3章:Q助での緊急度判定

3-A 緊急度判定の実施のしかた

3-B 医療機関・受診手段の検索のしかた

2章で「Q助」による緊急度判定を行うための準備について、「2-A全国版救急受診アプリ（Q助）のインストール」、「2-B利用設定のしかた」の流れでご説明いたします。

次に、アプリを利用する準備ができたなら、3章で「Q助」を用いた緊急度判定について、「3-A緊急度判定のしかた」、「3-B医療機関・受診手段の検索のしかた」でアプリの実際の利用方法をご説明いたします。

2 全国版救急受診アプリ (Q助)利用の準備を しましょう

6

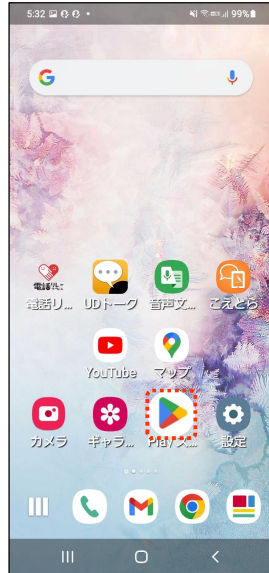
ここでは、「Q助」を利用する準備についてご説明いたします。

「Q助」のインストールや利用登録を行っていきます。

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

Androidの場合

- ① Playストア  をタップします



- ② 「アプリやゲームを検索」をタップします



7

まず、全国版救急受診アプリQ助のインストールを行います。

Androidのスマートフォンでのインストール方法からご説明いたします。

①ホーム画面からPlayストア をタップします。

②のアプリとゲームを…と記載されている画面上のグレーの枠をタップします。

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

Androidの場合

③ 「Q助」と入力します



④ 🔍 をタップします



8

③キーボードが出てくるので、「Q助」と入力します。

④虫眼鏡の形をした右下のマークをタップします。

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

Androidの場合

⑤ 「全国版救急受診アプリQ助」を選択します



⑥ 「インストール」をタップします



9

⑤検索結果一覧から「全国版救急受診アプリQ助」を選択します。

⑥「インストール」をタップします。インストールが完了すると「インストール」の表示が「開く」に変わります。

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

iPhoneの場合

① App Store  を
タップします



② 「検索」をタップします



10

次に、iPhoneで全国版救急受診アプリQ助をインストールする方法をご説明いたします。

- ①App Storeをタップします。
- ②右下にある「検索」をタップします。

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

iPhoneの場合

③ 検索枠に「Q助」と
入力します



④ 右下の検索ボタンを
タップし検索します



11

③検索内容の入力箇所に「Q助」と入力します。

④右下の検索ボタンをタップして検索します。

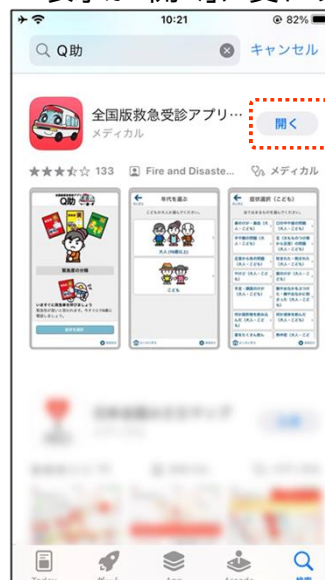
全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

iPhoneの場合

⑤ 「入手」をタップします



⑥ インストールが完了すると表示が「開く」に変わります



12

検索結果が表示され、全国版救急受診アプリQ助の詳細画面が表示されます。

⑤この画面で右上の「入手」と書かれたボタンをタップしインストールします。


⑥インストールが完了すると画面に「開く」のボタンが表示されます。

これでインストール完了となります。

【補足説明】

こちらでもアプリのインストールについてもっと詳しく知りたいという受講者がいた場合、アプリについて学ぶ講座もありますので、併せてご案内ください。

利用設定を行います

- ① ホーム画面からQ助  をタップします



- ② 利用規約を確認して「利用規約に同意する」をタップします



13

アプリがインストールできたらアプリを起動して利用設定を行います。

①ホーム画面から、Q助をタップします。

②「利用規約」が表示されますので、画面を指で下にスライドさせ、内容を確認し、最後に「利用規約に同意する」をタップします。

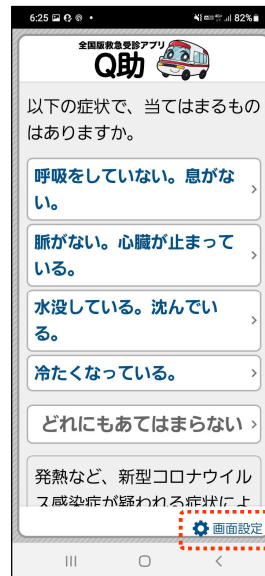
利用設定を行います

③ 画面右下の「画面設定」をタップします

※初回起動時の画面



※2回目以降起動時の画面



14

③初回起動時には、左側の画面になります。内容を確認したら画面右下の「画面設定」をタップします。

利用設定はいつでも変更が可能です。

アプリを2回目以降に起動したときは右の画面が最初の立ち上げ画面になりますが、その際も同じように「画面設定」をタップします。

2-B 利用設定のしかた

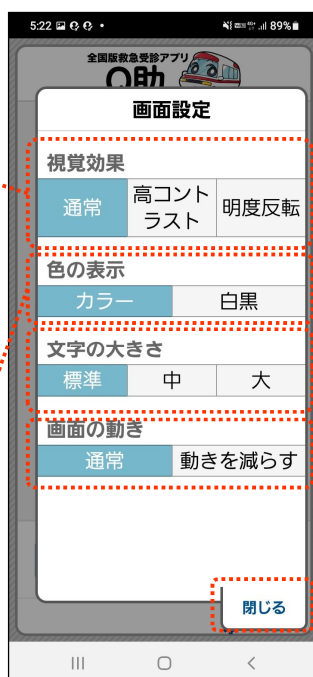
利用設定を行います

④

「通常/高コントラスト/明度反転」のいずれかをタップします

⑤

「カラー/白黒」のいずれかをタップします



⑥

「標準/中/大」のいずれかをタップします

⑦

「通常/動きを減らす」のいずれかをタップします

⑧

すべての設定が完了したら「閉じる」をタップします

15

設定項目が表示されます。

表示される文字の大きさはもちろん、カラーか白黒、どちらで表示するかなどの選択が簡単にでき、自分が一番見やすい画面に設定することができるようになっています。

④視覚効果の設定です。「通常/高コントラスト/明度反転」のいずれかをタップします。

⑤色の表示の設定です。「カラー/白黒」のいずれかをタップします。

⑥文字の大きさの設定です。「標準/中/大」のいずれかをタップします。

⑦画面の動きの設定です。「通常/動きを減らす」のいずれかをタップします。

⑧すべての設定が完了したら、最後に「閉じる」をタップします。

これで「Q助」を利用する準備が整いました。

3 全国版救急受診アプリ (Q助)を利用しましょう

16

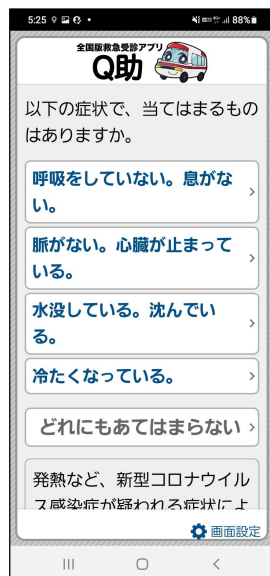
ここでは、「Q助」を利用してどのように緊急度判定を行うのか、ご説明いたします。

3-A

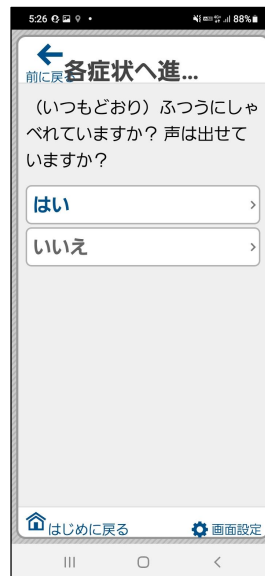
緊急度判定のしかた

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



※5つの項目から
症状を選択



※症状確認画面
※以降p18,19
の4つの
パターンに分岐

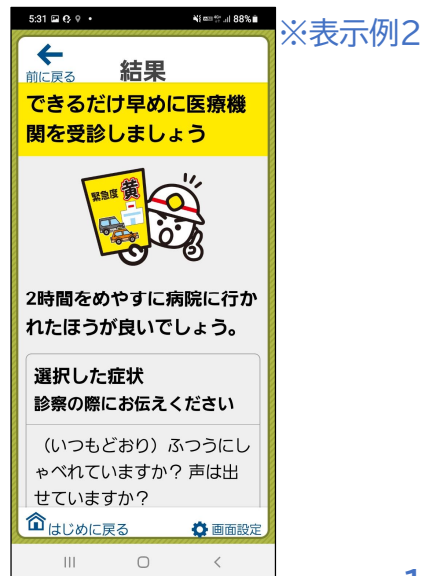
17

まず、「Q助」のアプリの緊急度判定についてご説明いたします。

「Q助」では、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた4つの対応が表示されます。

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



表示例1の赤色は、最も緊急度が高い「いますぐ救急車を呼びましょう」です。

表示例2の黄色は、2番目に緊急度が高い「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」です。

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



※表示例3



※表示例4

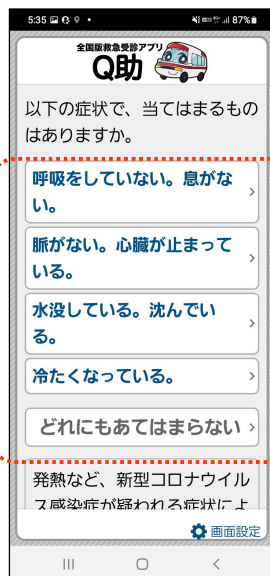
表示例3の緑色は、3番目に緊急度が高い「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」です。

表示例4の青色は、最も緊急度が低い「引き続き、注意して様子を見てください」です。

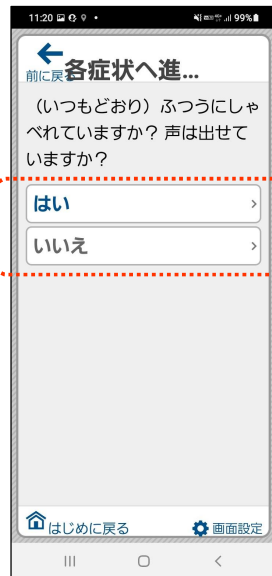
症状に応じて表示が変わりますので、アプリの表示を参考にする
ことで適切な対応をすることができます。

緊急度判定について

- ① 当てはまる項目をタップします



- ② 詳細の症状確認画面で「はい/いいえ」を選択します



20

それでは、ここからは緊急度判定のやり方をご説明いたします。

「Q助」を起動すると、現在の症状についての質問が表示されます。

- ① ホーム画面で現在の症状から当てはまる項目をタップします。
- ② 詳細の症状確認画面で内容を確認し、「はい」か「いいえ」を選択します。

緊急度判定について

③ 症状を選択する画面が表示された場合、当てはまる症状をタップします



④ 年代を選択する場合、「大人(16歳以上)」か「子ども」をタップします



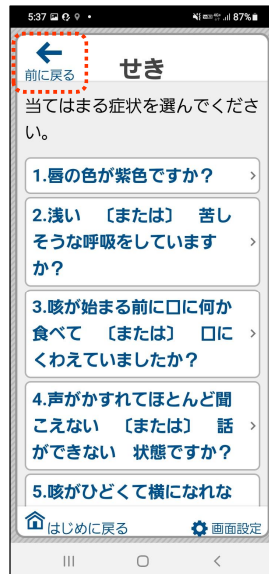
21

③「急に息が苦しくなりませんか？」や「胸の痛みがありますか？」といった症状を選択する画面が表示された場合、当てはまる症状をタップします。

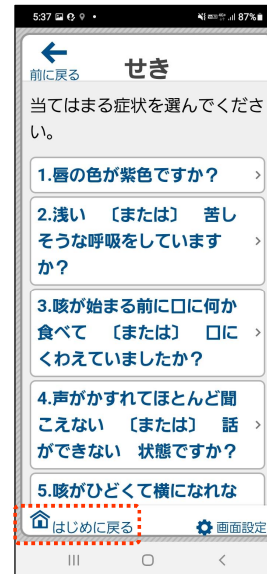
④年代を選択する場合、「大人（16歳以上）」か「子ども」かを選択する画面が表示された場合、いずれかをタップします。

緊急度判定について

- ⑤ 一つ前の画面に戻りたい場合、「前に戻る」をタップします



- ⑥ はじめからやり直したい場合、「はじめに戻る」をタップします



⑤ 答えている最中に、1つ前の画面に戻りたい場合は、画面左上にある「前に戻る」をタップします。

⑥ 答えている最中に、はじめからやり直したい場合は、画面左下にある「はじめに戻る」をタップします。

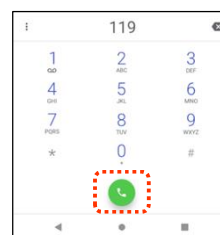
「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

- ① 「119番に電話する」をタップします

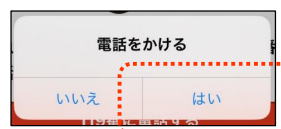


- ② Androidの場合は緑色の受話器マークをタップし、iPhoneの場合は「はい」をタップします

※Androidの場合



※iPhoneの場合



23

赤色の「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合は、緊急度が高いので、すぐに119番に電話してください。

①「119番に電話する」をタップすると119番に繋がります。

②Androidで電話をかける場合は電話アプリに画面が切り替わり、緑の受話器マークをタップすると119番に繋がります。

ここで緑のボタンをタップしてしまうと、本当に電話がつながってしまいますので、緊急時以外には絶対にタップしないようにしましょう。

iPhoneの場合は、「電話をかける」の表示に「はい」を選択すると119番に繋がります。ここで「はい」を選択してしまうと、本当に電話が繋がってしまいますので、緊急時以外には絶対にタップしないようにしましょう。

3-A

緊急度判定のしかた

「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

※ 音声による通報が困難な場合は、NET119緊急通報システムを利用できません

※ NET119緊急通報システムの利用にあたっては事前に申請手続きが必要になります

NET119緊急通報システムの概要、導入地域

https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/kyukyumusen_kinkyutuhou/NET119.html

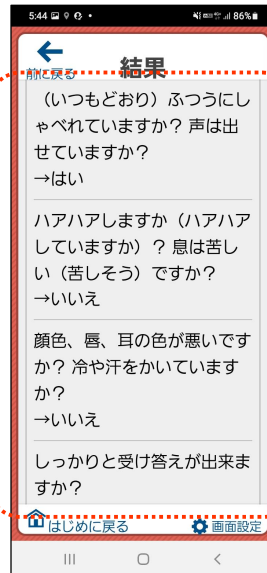


24

なお、音声による通話が困難な方には、画面上の操作で、救急車や消防車の要請ができる「NET119緊急通報システム」もありますので、必要に応じてご活用ください。

「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

- ③ オペレーターと会話する際は、必要に応じて「選択した症状」を確認します



③「Q助」で選択した症状もすべて画面に表示されますので、オペレーターに症状を伝える際の参考にしてください。

ここからは、NET119緊急通報システムを利用する際の注意点です。

NET119緊急通報システムを利用できない地域もありますので、ご注意ください。

NET119緊急通報システムを導入している地域は、消防庁のホームページから確認することができます。

また、NET119緊急通報システムの利用にあたっては事前に申請手続きが必要になります。

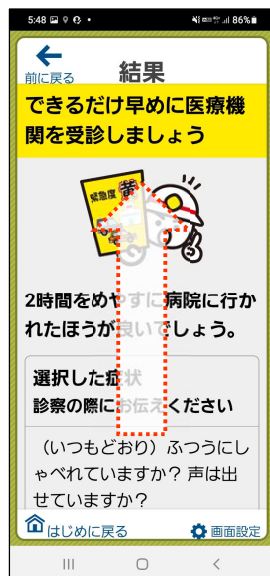
具体的な申請方法については、お住まいの自治体のHP等をご確認ください。

3-A

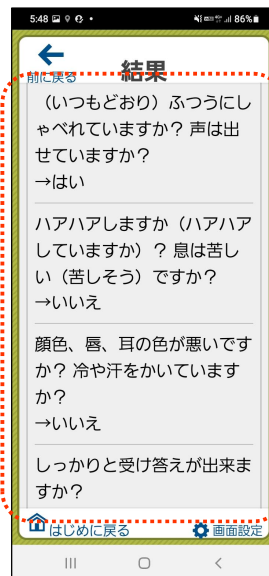
緊急度判定のしかた

「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」が表示された場合は2時間をめやすに受診しましょう

- ① 画面を下から上にスクロールします



- ② 「選択した症状」や「受診科目の参考」も参考にしてください



26

黄色の「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」が表示された場合は、今すぐに救急車を呼ぶ必要はありませんが、2時間をめやすに病院を受診するようにしましょう。

- ①画面を下から上にスクロールします。

②「Q助」で選択した症状や、何科を受診すればよいかの参考も表示されますので、受診の際に参考にしてください。

3-A

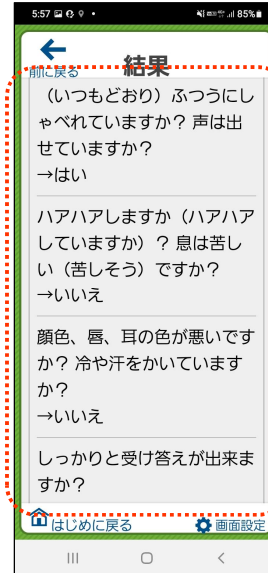
緊急度判定のしかた

「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」が表示された場合は、夜間でしたら翌日の診察でもかまいません

- ① 画面を下から上にスクロールします



- ② 「選択した症状」や「受診科目の参考」も参考にしてください



27

緑色の「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」が表示された場合は、夜間でしたら翌日の診療でもかまいません。

ただし、翌日中までに受診するようにしてください。

①画面を下から上にスクロールします。

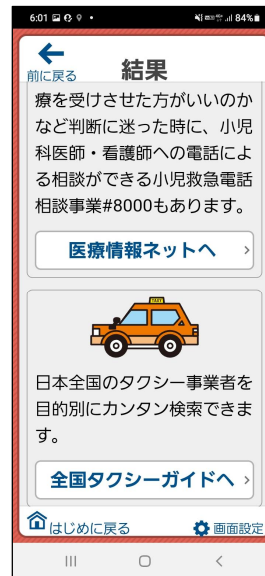
②「Q助」で選択した症状や、何科を受診すればよいかの参考も表示されますので、受診の際に参考にしてください。

医療機関・受診手段の検索方法です

- ① 結果の画面を下から上にスクロールします



- ② 医療情報ネット/全国タクシーガイドに関するページが表示されます



※p26①、p27①の結果の画面でも同様です

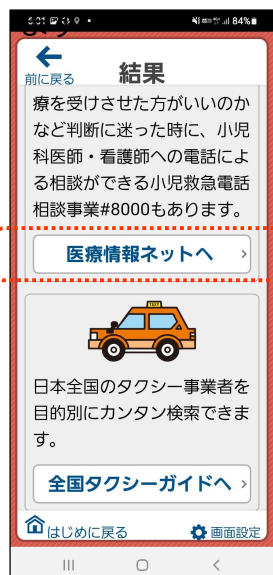
「Q助」から、医療機関や受診手段の検索を行うこともできます。

①結果が表示されている画面を下から上にスライドします。

②医療情報ネットと全国タクシーガイドに関するページが表示されます。

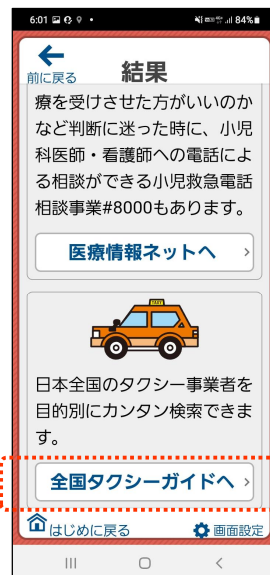
医療機関・受診手段の検索方法です

- ③ 診療科目・日・時間等を検索する場合、「医療情報ネットへ」をタップし



※p30へ

- ④ タクシーを利用する場合、「全国タクシーガイドへ」をタップします



※p32へ

29

③ 診療科目や診療日・時間等を検索する場合、「医療情報ネットへ」をタップします。

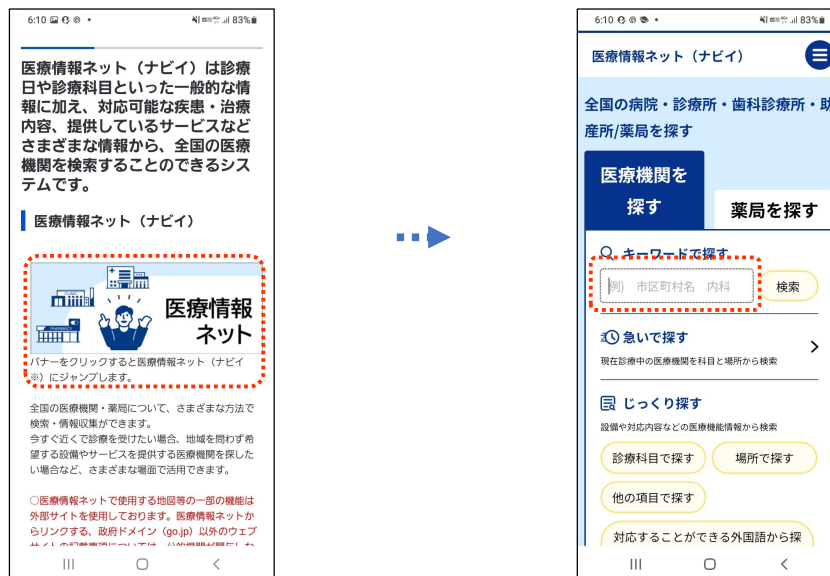
「医療情報ネット」に接続されます。医療情報ネットの利用方法については、p30以降に記載しております。

④ 受診にあたってタクシーを利用する場合、「全国タクシーガイドへ」をタップします。

「全国タクシーガイド」で全国のタクシー事業者を目的別に検索することができます。全国タクシーガイドの利用方法については、p32以降に記載しております。

医療情報ネットから医療機関を検索します

- ① 「医療情報ネット」をタップします ② 検索したい市区町村を入力します



30

医療情報ネットを利用し、医療機関を検索します。

①「医療情報ネット」をタップします。

②検索したい市区町村を入力します。

医療情報ネットから医療機関を検索します

③ 「検索」をタップします



※以降、ページの案内に沿って操作をします

<参考>

厚生労働省 医療情報ネット
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/teikyouseido/index.html



31

③「検索」をタップします。

以降、各都道府県が医療情報をまとめたページが表示されますので、ページの案内に沿って操作をすれば、受診できる医療機関や日時などを検索することが可能です。

「医療情報ネット」の詳細については、厚生労働省のHPも併せてご参照ください。

全国タクシーガイドから受診手段を検索します

- ① 画面を下から上にスクロールします ② 「救急・救援タクシー」をタップします



32

全国タクシーガイドを利用し、受診手段を検索します。

- ①画面を下から上にスクロールします。
②「救急・救援タクシー」をタップします。

全国タクシーガイドから受診手段を検索します

③ 検索したい都道府県を選択します

※電話の音声利用が難しい方は、
電話リレーサービスを利用することも可能です
※電話を利用する場合、通話料がかかります



※以降、ページの案内に沿って操作をします



<参考> 全国タクシーガイド
<http://www.taxi-guide.jp/>

33

③「タクシーを利用される都道府県をお選びください」の項目で、「都道府県を選択して下さい」をタップし、検索したい都道府県を選択します。

以降、条件に合致するタクシー会社の電話番号やURL等が表示されます。

ページの案内に沿って操作をすれば、条件に一致するタクシーを検索することが可能です。

また、電話の音声利用が難しい方は、電話リレーサービスを利用することも可能です。

「全国タクシーガイド」の詳細については、全国タクシーガイドのHPも併せてご参照ください。

救急安心センター（#7119）とは？

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあります。そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が救急安心センター事業（#7119）です。

救急安心センター事業（#7119）に寄せられた相談は、電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

こんなときに#7119

「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」、悩んだりためらわれた時は、救急安心センター事業（#7119）に電話してください

- ▶ こんな症状で救急車を呼んでいいのかな...
- ▶ 具合が悪いけどすぐに病院に行った方がいいかな...
- ▶ 手遅れになったらどうしよう...
- ▶ 近所の目が気になるから、救急車を呼ぶのは控えよう...

次に、救急安心センターについてご説明いたします。

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあります。

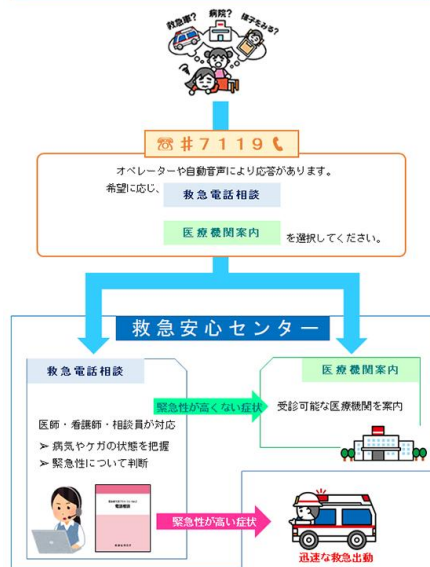
そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が救急安心センター事業（#7119）です。

救急安心センター事業（#7119）に寄せられた相談は、電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」、悩んだりためらわれた時は、救急安心センター事業（#7119）に電話してください。

救急安心センター(# 7119)の利用方法

救急安心センター事業(# 7119)の利用方法



※現在治療中の病気の治療方針、医薬品の使用方法、介護、健康、育児、精神科等に関する相談は受けられません

※相談料は無料です 通話料は各実施地域により異なります

「#7119」(又は地域ごとに定められた電話番号)に電話することで、救急電話相談を受けることができます。

#7119に寄せられた相談は、医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等が電話口で傷病者の状況を聞き取り、「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要があるか」等を判断します。相談内容に応じて、迅速な緊急出動につないだり、受診可能な医療機関の案内を受けたりすることができます。

35

救急安心センターの利用方法についてです。

「救急車を呼んだ方がよいか」、「今すぐ病院に行った方がよいか」など、判断に迷ったときに、「#7119」(又は地域ごとに定められた電話番号)に電話することで、救急電話相談を受けることができます。

#7119の番号で発信すると、オペレーターや自動音声により応答がありますので、希望に応じて「救急電話相談」または「医療機関案内」を選択してください。その後、電話口の指示に従って対応します。

#7119に寄せられた相談は、医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等が電話口で傷病者の状況を聞き取り、「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要があるか」等を判断します。

相談内容に応じて、迅速な緊急出動につないたり、受診可能な医療機関の案内を受けたりすることができます。

救急安心センター（#7119）の実施エリアについて

#7119を行っている地域は以下URLを参照ください。

お住まいの地域をご確認の上、ご相談ください。

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>

こちらのページでは、救急安心センター（#7119）の実施エリアのURLを掲載しております。

お住まいの地域をご確認の上、ご相談ください。

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

おとなの場合



気をつける症状

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- るれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる
または、真っ黒い便が出る

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

意識の障害

- 意識がない（返事がない）
またはおかしい（もうろうとしている）
- くったりしている



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物のどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

出典：<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

次に、緊急度の高い症状についてご説明いたします。

こちらのページで紹介する症状がある場合には、緊急性が高いため、すぐに119番に電話しましょう。

おとなの場合は、顔にしびれがある・ろれつがまわりにくく、うまく話せない・手足に突然のしびれがある・突然の激しい頭痛・急な息切れ、呼吸困難・血を吐く、などといった症状です。

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

子ども(15歳以下)の場合



気をつける症状

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手足

- 手足が硬直している

<p>意識の障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意識がない(返事がない) またはおかしい(もうろうとしている) 	<p>けいれん</p> <ul style="list-style-type: none"> ● けいれんが止まらない ● けいれんが止まっても、意識がもどらない 	<p>飲み込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない
<p>じんましん</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった 	<p>やけど</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 痛みのひどいやけど ● 広範囲のやけど 	<p>事故</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故にあった(強い衝撃を受けた) ● 水におぼれている ● 高いところから落ちた
<p>生まれて3カ月未満の乳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乳児の様子がおかしい <p>◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合</p>		

出典: <https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

15歳以下の子どもの場合は、くちびるの色が紫色・顔色が明らかに悪い・呼吸が弱い・手足が硬直している・頭を強くぶつけて、出血が止まらない・意識がない・けいれんがある・嘔吐が止まらない、などといった症状です。

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

高齢者の場合



気をつける症状

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせた

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

出典：<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

高齢者の場合は、顔半分が動きにくい、しびれる・ろれつがまわりにくい・見える範囲が狭くなる・突然、片方の腕や足に力が入らなくなる・

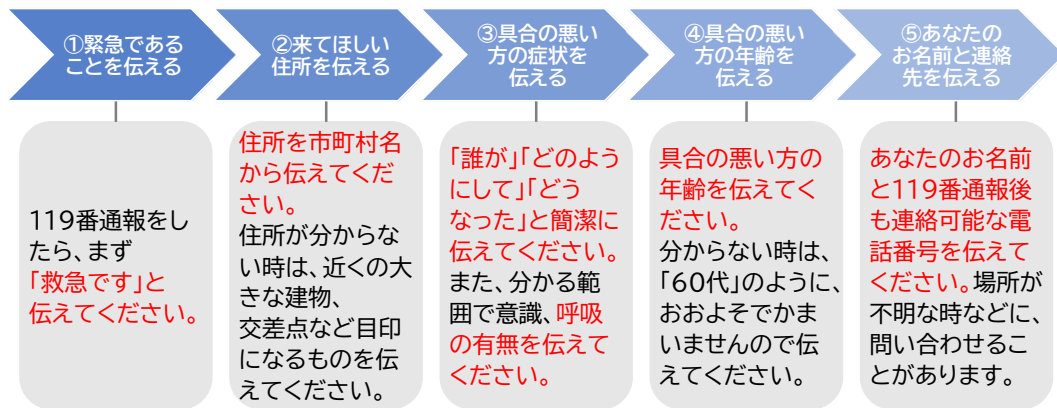
突然の激しい頭痛・突然の高熱・急な息切れ、呼吸困難・血を吐く、などといった症状です。

これらの症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう。

3-D

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお伺いします。緊急性が高い場合はすべてお伺いする前でも救急車が出動します。あわてず、ゆっくりと答えてください。



※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります

※答えられる範囲で伝えてください

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です

40

最後に、救急車の呼び方についてご説明いたします。

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお伺いします。緊急性が高い場合はすべてお伺いする前でも救急車が出動します。あわてず、ゆっくりと答えてください。

①まず、救急であることを伝えてください。「救急です」という伝え方で問題ありません。

②救急者に来てほしい住所を市区町村から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。

③具合の悪い方の症状を伝えてください。「誰が」「どのようにして」「どうなった」と簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無を伝えてください。

④具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60

代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。

⑤あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがありますので、答えられる範囲で伝えてください。

上記に示したものは一般的な聞き取り内容になりますので、あくまで参考程度にさせていただき、電話口の指令員の指示に従ってください。

以上で全国版救急受診アプリ(Q助)の利用方法についての講座は終了となります。